

関東大震災100年に向けたプロジェクトがスタート！ 第1弾として『関東大震災大火実況』全篇を公開

「関東大震災映像デジタルアーカイブ」開設のお知らせ



左：『関東大震災大火実況』1923年 火災延焼中の神田方面を望む
 右：WEBサイトのトップ画面

お世話になっております。国立映画アーカイブではこのたび、WEB サイト「関東大震災映像デジタルアーカイブ」を国立情報学研究所と共同で開設・公開する運びとなりました。本サイトでは、1923（大正12）年9月1日に発生した関東大震災について、当館が所蔵する関連の映画フィルムなどの資料を公開します。

サイト開設時には、文部省が監修し、全国規模での普及を図った長篇記録映画『関東大震災大火実況』の全篇を公開します。その後、関東大震災発生から100年にあたる2023年9月1日までに、2年をかけて、当館で所蔵する関東大震災関連の全ての映画フィルムの公開を目指します。

【サイトの特徴】

★撮影場所、シーン（写されている事象）で分類された「クリップ」単位での検索・閲覧が可能
 場所（現在の区名）＝千代田、中央、港、文京、台東、墨田、江東、渋谷、横浜、不明
 シーン＝火災、焼失、倒潰・損壊、避難、救助・救護・救援、避難生活の場、復旧、復興、皇族
 また、撮影場所や時間の特定にあたり典拠とした資料の情報も掲載します。

★2023年9月1日までに、約20作品を公開予定

公開予定の作品

『関東大震災実況』（日活、1923年）

『大正拾貳年九月一日 猛火と屍の東京を踏みて』（ハヤカワ藝術映画製作所、1923年）

『帝都大震災 大正十二年九月一日』〔別題：大震災と三井〕（製作会社不詳、1923年）

本サイトによって、10万5千人に及ぶ死者・行方不明者を生み出した未曾有の巨大災害についての知識と関心をより高めていただくとともに、記録映画へのリテラシーを養い、映像ならではの発見や驚きを実感していただけるよう、今後も工夫を加えながら、成長するサイトとして育ててまいります。つきましては、ぜひとも本サイトのご紹介をご検討いただきますよう、お願い申し上げます。

| | |
|------|---|
| サイト名 | 関東大震災映像デジタルアーカイブ |
| URL | https://kantodaishinsai.filmarchives.jp/ |
| 制作 | 国立映画アーカイブ、国立情報学研究所 |
| 公開日 | 2021年9月1日（水）午前0時 |

【本件に関するお問い合わせ】

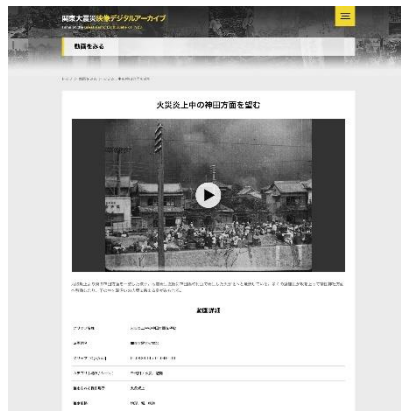
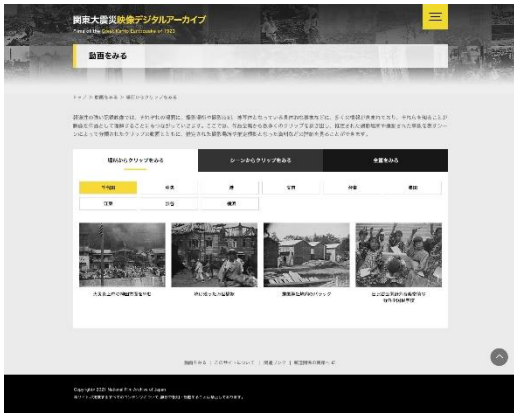
国立映画アーカイブ「関東大震災映像デジタルアーカイブ」広報担当
 電話：03-3561-0823／FAX：03-3561-0830／E-mail：kanto1923@nfaj.go.jp

第1回公開作品『関東大震災大火実況』について

64分 | 1923年 | 文部省社会教育課製作・配給 | サイレント | 白黒

白井茂カメラマンの「決死的撮影」により惨状を記録したことで、関東大震災に関する映画の中でも特に知られる1本。東京、横浜の被災状況から、官民挙げての救護・治安維持活動、早くも始まった復興への歩みに至るまでを映します。

検索・閲覧可能なクリップの例と、その解説



左：クリップの選択ページ。「場所」「シーン」で分かれていて、そこからさらに細かい分類がある。

右：クリップ「火災炎上中の神田川方面を望む」の詳細ページ。（下記例の左上にあたる）推定される撮影場所や撮影時刻、その根拠や、新旧の住所などが記されている。



場所：千代田／シーン：火災、避難

九段坂上より東の神田方面を一望した様子。地震発生直後に今川小路付近で発生した火が北へと延焼している。多くの避難民が坂を上って靖国神社方面へ移動したり、下の牛ヶ淵沿いの広場に留まる姿がみられる。



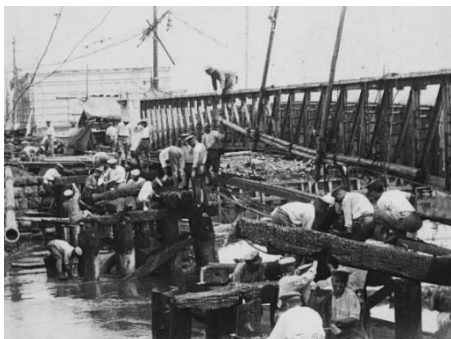
場所：千代田／シーン：焼失

大火後にみる万世橋駅の焼跡の様子。煉瓦の壁体は残るも、屋根は焼け落ちて鉄骨が剥き出しとなっている。南西から駅舎正面を捉えており、駅前広場には日露戦争で戦死した広瀬中佐と杉野兵曹長の像がみえる。



場所：横浜／シーン：焼失、倒潰・損壊

山下町の谷戸橋際にあったグランドホテルは、1873年に開業した。地震により倒壊焼失し、焼跡にはボイラーの煙突が残された。



場所：江東／シーン：復旧

海辺橋とは、仙台堀川に架かる現・清澄通りの橋（当時は深川区、現在は江東区）。工兵隊により復旧工事が行われたという。本作の最終部では、この海辺橋付近で馬上から視察する摂政宮（のちの昭和天皇）の姿が写されている。



場所：台東／シーン：救助・救護・救援、避難生活の場

東京市社会局と桜楓会（日本女子大学の同窓会）による児童救護活動。撮影は、9月18日、ないしは19日以降、上野公園竹の台のバラック付近で行われたと思われる。



場所：千代田／シーン：救助・救護・救援

罹災児童を対象に文部省内の少年団日本連盟が主宰した「野外少国民学校」は、市内6か所で開設された。本場面は、この年の7月にオープンしたばかりの日比谷公園野外音楽堂（大音楽堂）での授業風景。

【本件に関するお問い合わせ】

国立映画アーカイブ「関東大震災映像デジタルアーカイブ」広報担当
電話：03-3561-0823/FAX：03-3561-0830/E-mail：kanto1923@nfaj.go.jp